

## 平成26年度 事業報告(26.4~27.3)

### 1. 総会<法人会計>

- 26.06.18 第4回通常総会において、平成25年度事業報告及び収支決算(監査報告含)、平成26年度事業計画及び収支予算、認定眼鏡士登録規程の改正(案)、理事・監事選任に関する件を提案、審議の結果各々提案通り可決。また報告事項として、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、組織活性化特別委員会報告、広報部報告 について報告。引き続き、講演会を開催。
- ①「眼鏡店で出来る簡易的な視野検査 ー試作と検証ー」  
講師：日本眼鏡技術専門学校 卒業生 北浦 幹士 氏
- ②「乱視度数の弱補正と動体視力KVAの関係」  
講師：ワールドオプティカルカレッジ 卒業生 綱井 杏之介 氏

### 2. 理事会<法人会計>

- 26.05.07 第4回通常総会の議案について、①平成25年度事業報告及び収支決算(監査報告含)、②平成26年度事業計画及び収支予算、③理事・監事選任の件、について審議の結果承認。報告事項として、公益事業区分見直しの件、平成26年度広報部事業計画案、組織活性化委員会報告、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、会員数及び認定眼鏡士登録者数、今後の会議日程について、各々報告。
- 26.06.18 第4回通常総会で選任された理事の互選により、会長として津田節哉氏を重任。また副会長として片山敬三氏(兼会員組織部長)、金井昭雄氏(兼国際部長)、木方伸一郎氏(兼教育部長)、辻戦三氏(兼広報部長)、豊福厚至氏(兼総務部長)、中島能澄氏(兼財務部長)の6氏を選任。また法制部長(相澤博彦氏)、社会福祉部長(野口毅氏)を選任。
- 26.10.29 審議事項として、①平成26年度上期の事業報告並びに上期決算報告、②代議員選挙実施の件、③顧問・相談役の委嘱について、④50周年記念事業について、各々審議の結果承認。報告事項として、①眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、②平成26年度PR事業について、③組織活性化特別委員会報告、④会員数並びに認定眼鏡士登録者数、今後の会議日程、について、各々報告。
- 27.03.04 審議事項として、①平成27年度事業計画並びに収支予算について、②平成27年度生涯教育・実技講習の実施について、③平成27年度PR事業について、④50周年記念事業について、各々審議の結果承認。  
報告事項として、①平成27・28年度支部代議員選挙結果、②眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、③組織活性化委員会報告、④内閣府立入検査報告、⑤会員数並びに認定眼鏡士登録者数、今後の会議日程について、各々報告。

### 3. 正副会長・部長会議<法人会計>

- 26.05.07 理事会に提案する第4回通常総会の議題等について協議。
- 26.06.18 第4回通常総会並びに講演会の運営について協議。
- 26.10.29 理事会に提案する平成26年度上期の事業報告並びに上期決算報告を中心とした議題について協議。
- 27.03.04 理事会に提案する平成27年度事業計画並びに収支予算を中心とする議題

について協議。

#### 4. 選挙管理委員会<法人会計>

- 26.05.09 第1回選挙管理委員会(平成26・27年度理事・監事候補者氏名、選挙日程の確認)
- 26.06.16 第2回選挙管理委員会(理事・監事選挙 投票用紙の開票)
- 26.12.19 第3回選挙管理委員会(平成27・28年度代議員選挙公示内容の確認)
- 27.02.04 第4回選挙管理委員会(代議員及び補欠の代議員の立候補者氏名の確認、定数に満たなかった支部に対する「支部代議員推薦依頼状」を確認)
- 27.03.02 第5回選挙管理委員会(支部から推薦された代議員・補欠の代議員名簿により、代議員110名、補欠の代議員47名を確定)

#### 5. 教育関連事業<公1、公2、公4>

- 26.06.09 会員及び会員外認定眼鏡士に対し、教育特集号送付
- 26.06.12 生涯教育講習会について、講師会メンバーによるリハーサルを実施
- 26.07.01～ 生涯教育、実技講習会開催、その他認定講習会を開催
  - 27.03.31 (受講者総数6,164名)
    - ①生涯教育 40支部35会場：受講者数 1,936名
    - ②実技講習会 19支部19会場：受講者数 420名
    - ③通信講座 受講者数 848名
    - ④その他認定講習会：各眼鏡専門学校主催オープンセミナー、各支部主催講習会、I O F Tセミナー、他：受講者数 2,960名
- 26.07.29～08.01 SSS級認定眼鏡士認定試験のための講習会 2会場(キタ眼鏡専門学校、8/6静岡県支部)開催：受講人数延べ(43科目・18名)
- 26.08.20 SS級認定眼鏡士学科試験実施 5会場(東京、愛知、大阪、岡山、滋賀)：受験者数150名
- 26.08.25～08.29 SS級認定眼鏡士実技試験実施 5会場(東京、愛知、大阪、岡山、滋賀)：受験者数132名
- 26.09.02～03 SSS級認定眼鏡士認定試験実施 2会場(東京眼鏡専門学校、キクチ眼鏡専門学校)：受験科目数・受験者数延べ(73科目・23名)
- 26.09.09 SSS級認定眼鏡士認定試験合否判定会議
  - ：科目合格数・人数延べ(16科目・11名)
  - 全7科目合格者数 1名(累計25名)
- 26.09.16 SSS級認定眼鏡士試験結果通知を発送
- 26.09.26 SS級認定眼鏡士試験合否判定会議
  - ：学科全5科目合格者数 72名
  - 実技全3科目合格者数 63名
  - 学科・実技全8科目合格者数 36名(SS級登録資格取得者)
- 26.10.14 SS級認定眼鏡士試験結果通知を発送
- 26.12.10 講師会を開催(教育全般の実績報告と反省点、次年度テーマの検討)
- 27.02.25 講師会を開催(平成27年度生涯教育テキストの内容検討)

#### 6. 組織強化関連事業

##### 6-1. 認定眼鏡士登録更新事業<公1>

- 26.04～27.03 認定眼鏡士新規登録証、更新登録証の発送

## 6-2. 支部助成金、ブロック会議<法人会計>

- 26.05.23 各支部に対して支部助成金を送金
- 26.07.02 東京・関東ブロック会議（生涯教育・実技講習会の運営、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について意見交換。各支部活動等について報告。）
- 26.07.08 東北ブロック会議（眼鏡技術者国家資格推進機構・日本眼鏡士連盟の最近の動向について意見交換。啓蒙・PR活動、教育事業全般について意見交換。各支部活動等について報告。）
- 26.08.26 中国ブロック会議（眼鏡技術者国家資格推進機構・日本眼鏡士連盟の最近の動向、青年部・女性部の活動、26年度普及啓蒙活動等について意見交換。支部活動報告他。）
- 26.08.28 東海ブロック会議（第1部として入江道文氏による、「アンチエイジング」の講演会を実施。第2部として「これからの人が魅力の持てるメガネ業界とするには」のテーマで、亀井正美青年部長の基調講演の後に議論。）
- 26.11.12 九州ブロック会議（眼鏡技術者国家資格推進機構・日本眼鏡士連盟の最近の動向、本部の上期事業報告及び上期決算報告、各支部活動等について報告。）
- 26.11.26 北陸ブロック会議（眼鏡技術者国家資格推進機構・日本眼鏡士連盟の最近の動向、本部の上期事業報告及び上期決算報告、各支部活動等について報告。）
- 27.02.18 近畿ブロック会議（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向、支部決算処理について、各支部活動等について報告。）
- 27.02.25 四国ブロック会議（眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向、支部決算処理について、各支部活動等について報告。また次年度の生涯教育及びブロック会議の開催場所と日程を確認。）
- 27.03.25 北海道ブロック会議（生涯教育、実技講習会の実施内容、会員動向、仮決算報告、眼鏡技術者国家資格推進機構の動向、27年度生涯教育計画について報告。）

## 6-3. 組織活性化特別委員会<法人会計>

- 26.05.07 第6回組織活性化特別委員会を開催。①青年・女性部会の詳細、②フェイスブックの運営及び勧誘、③セミナーの計画、④女性代議員の意見聴取 などについて検討。
- 26.06.18 第7回組織活性化特別委員会を開催。①青年・女性部会の基本事項確認、②フェイスブックの運営及び勧誘 などについて検討。
- 26.09.08 第8回組織活性化特別委員会を開催。①青年・女性部会の未整備部分、②部会への要望アンケート、③フェイスブックの運営及び勧誘、④セミナーの計画 などについて検討。
- 26.10.29 第9回組織活性化特別委員会を開催。①ピンタック作成及びアンケート実施の件、②フェイスブックの運営及び勧誘について、③セミナー実施計画、④女性会員や青年会員の登用 などについて検討。
- 27.02.18 青年／女性部主催の「顔型に合う似合うメガネの選び方」講習会（講師は下重恵子先生）を開催し、計78名の参加。東京会場は2月18日に参加35名で、大阪会場は2月25日に参加27名で、愛知会場は3月18日に参加16名で開催。
- 27.03.04 第10回組織活性化特別委員会を開催。①青年／女性部会主催セミナーの

実施状況、②アンケートの集計結果、③次年度の事業計画、④支部での青年／女性登用の促進 などについて検討。

7. 社会福祉関連事業<公5>

- 26.04.25 日本失明予防協会の年会費納入
- 26.08.18 厚生労働省に対して平成26年度「目の愛護デー」の協賛同意書提出
- 26.08.18 各支部長に対し、平成26年度「目の愛護デー」協賛依頼書送付
- 27.02.12 (公財)日本失明予防協会に対し、失明予防事業資金として寄付
- 27.02.25 WCO(世界オプトメトリー会議)に対し、失明予防活動助成金を寄付

8. 広報活動関連事業<公4>

- 26.04.28 会員に対し、JOAニュース(No144号)送付
- 26.09.16 会員に対し、JOAニュース(No145号)送付
- 26.12.25 会員に対し、JOAニュース(No146号)送付

9. 普及啓蒙関連事業<公4>

- 26.07.28 リーフレットを会員及び認定眼鏡士に配布
- 26.09.16 ポスターを会員及び認定眼鏡士に配布

10. 海外交流関連事業<公3>

- 26.06.15~06.19 WCO(世界オプトメトリー大会)、モザンビーク・マプト開催、林国際部員出席
- 26.05.23 ISO国内委員会年会費納入
- 26.07.25 WCO(世界オプトメトリー会議)年会費納入

11. 調査研究関連事業<公3>

- 26.04.18 眼鏡技術者国家資格推進機構第6回幹事会出席
- 26.07.03 会員に対し、「眼鏡技術者国家資格推進機構ニュース第5号」を送付
- 26.07.15 眼鏡技術者国家資格推進機構第8回正副代表幹事会出席
- 26.09.18 眼鏡技術者国家資格推進機構第9回正副代表幹事会出席
- 26.10.27 眼鏡技術者国家資格推進機構第10回正副代表幹事会出席
- 26.11.20 眼鏡技術者国家資格推進機構第7回幹事会、第3回通常総会出席
- 26.12.25 会員に対し、「眼鏡技術者国家資格推進機構ニュース第6号」を送付
- 27.03.31 眼鏡専門学校の調査研究事業に対して奨励金を拠出(愛知、大阪、岡山)
  - ①ビデオ型各種パラメータ測定器の考察  
(キクチ眼鏡専門学校:西川由加里氏)
  - ②バゴリーニ検査に光ファイバーを利用する有用性の検証と  
それを使ったスターライトテストの試作  
(日本眼鏡技術専門学校:西田昌史氏)
  - ③ニンテンドー3DSによる立体視標の試作  
(ワールドオプティカルカレッジ:小原 隆博氏)

12. 関係団体関連事業<法人会計>

- 26.04.18 日本眼鏡関連団体協議会 第70回幹事会出席
- 26.07.15 日本眼鏡関連団体協議会 第71回幹事会出席

- 26.09.25 日本眼鏡関連団体協議会 第72回幹事会出席  
 26.11.20 日本眼鏡関連団体協議会 第73回幹事会、第19回通常総会出席

13. 消費者対策事業（消費者センターからの質問に回答）＜公4＞

- 26.10.17 フィッティングのために熱を加え変形修正することは、繰り返し行っても品質に影響を与えないのか。影響を与えないのなら、購入前の商品にそれを行って再び新品の商品として陳列しても良いものか。  
 26.10.20 メガネが緩むのでネジを締めてもらったが、ネジの締め方が強すぎてレンズの付け根に負荷がかかって折れた。ネジの締め方とレンズにかかる負荷等の因果関係はあるか。また折れた原因は何か。

14. 管理部門（総務部、財務部）＜法人会計＞

- 26.04～27.03 会員管理（入退会、支部移動、住所・勤務先変更等）  
 26.04～27.03 会費管理、収入・支出の管理（財務部）  
 26.04～27.03 認定眼鏡士管理（新規登録・更新登録）  
 26.04.03 会員資格喪失者に通知書送付同時に当該支部長に通知。  
 26.04.23 監査会（平成25年度事業報告及び収支決算について）  
 26.05.30 代議員に対し第4回通常総会の案内を送付。  
 26.06.27 内閣府に対し平成25年度事業報告・収支決算書等を提出  
 26.10.01 平成26年度会費未納者に対して督促状送付。  
 26.10.15 監査会（平成26年度上期の事業報告並びに上期決算報告）  
 26.12.11 内閣府の立入検査を受け、特段の問題点なし。  
 27.01.16 平成24・25年度の2年間の会費未納者に督促状送付。  
 27.01.23 内閣府に対しS級認定眼鏡士登録証発行事業を追記する変更届出を提出。  
 27.03.24 内閣府に対し平成27年度事業計画、収支予算書を提出。

15. 会 員 数

①前期末会員数（平成26年3月31日）	6,366名
②当期新入会員（平成26.4.1～27.3.31）	156名
③当期資格喪失者数（平成26.4.1）	267名
④当期退会者数（平成26.4.1～27.3.31）	114名
⑤当期復活者数（平成26.4.1～27.3.31）	54名
⑥当期末会員数（平成27年3月31日）	6,195名

（注記）事業報告各項目の末尾の＜公1＞、＜公2＞、＜公3＞、＜公4＞、＜公5＞、＜法人会計＞の解説。

＜公1：公益事業1＞＝資格付与に関する事業

＜公2：公益事業2＞＝講座、セミナー、育成に関連する事業

＜公3：公益事業3＞＝調査、資料収集に関連する事業

＜公4：公益事業4＞＝キャンペーンに関連する事業

＜公5：公益事業5＞＝助成に関連する事業

＜法人会計＞＝組織（日本眼鏡技術者協会）を維持するための活動

以 上